

アイリスLetter



2017年6月30日発行

第3号

広島女学院中学高等学校

保護者の皆様へ

6月下旬を迎えても雨が少ない毎日が続く、夏の水事情が心配な今日この頃です。6月は比較的行事の少ない月ではありますが、本校では面接週間・平和を祈る週があり、充実したプログラムが実施されました。その最終日の講演は、SGHの研究発表会のプログラムとも重なる形で、講師として来てくださった、フォトジャーナリストの安田菜津紀さんの講演を一般の参加者も交えて聞くことが出来ました。また、安田さんは、その後の生徒達とのパネルディスカッションにも登壇され、配慮の行き届いた適確なリードで、SGH諸活動の正解のない課題に悩みながら取り組む生徒達の思いを参加者と共有させてくださり、女学院生との素晴らしい出会いを与えてくださいました。(詳しくは宗教教育委員会・GECの記事をご覧ください)

SGHに2014年から取り組んで、今年で4年目に入っています。毎年3月末には実施報告書を文科省に提出しますが、これが冊子にまとめられました。作成する教員には大きな負担をかけていますが、充実した内容になっています。(PTA会議室にもありますので、希望の方はご覧ください) その中に、2014年～2016年の3年分の進捗状況をデータで表したのがあります。

「以前よりも国際問題に興味を持つようになった」78%⇒80%⇒85%、「将来留学したり仕事で国際的な場で活躍したいと思うようになった」55%⇒61%⇒64%、「以前より英語力を高めたいと思うようになった」80%⇒84%⇒91%、「グローバル社会で平和に貢献するリーダーになりたいと思うようになった」46%⇒52%⇒54%、というデータが出ています。(中高生徒全員対象アンケートの一部) SGHのPS(ピーススタディーズ)プログラムを通して、また多くの異文化の方たちとの様々な出会いの中でその視野が大きく広がっていることが分かります。また、英語についても、様々な人とのコミュニケーションを通して、生徒達の心の中にある各国の人々の思いを理解したい、思いを伝えたいという、切実な思いがもともとなっていることが感じられます。

6月12日の高校の朝の礼拝で、中高卒業生であり、ハワイで長年に渡り牧師として働いてこられた三宅展子さんのお話があり、ホールの画面にはいきなり3～5mの大きなサメと、人の手の上にとった数十cmのサメが映し出されました。外洋で育つか、水槽で育つかで同じサメでもこんなに違ってしまふ。若い日に広い世界と出会い、様々な価値観に触れることが人を大きく成長させることを話してくださいました。

グローバル教育の大切なところは、ただ海外に出かけたり、外国語が使いこなせることではなく、最終的には自分の生きている国・土地や人々、そして自分自身を様々な尺度で出来るだけ偏りなく見て理解し、自己を確立していくことであると思います。また、リーダーシップについても、人の先頭に立つことを考える以前に、自分自身の人生のリーダーとして自分が本当にしたいこと、すべきことを明確にすること、そして人や社会に仕える心の姿勢が基本になります。「サーバント・リーダーシップ」を提唱したR. K. グリーンリーフ氏は、「リーダーは始めに奉仕したいという気持ちが自然に湧き起こる。次いで意識的に行なう選択によって、導きたいと強く望むようになる。」と書いています。そうであれば、社会の活動的な場に立つにしても、家庭にあるにしても、リーダーシップというものは人間として目指さなければならないものとも考えられます。グローバル教育に取り組みながら、生徒達が人間として豊かに成長することを祈っています。

聖書の言葉

「いちばん上になりたい者は、全ての人の僕になりなさい。人の子は仕えられる為ではなく仕える為に、また、多くの人を身代金として自分の命を献げるために来たのである。」

マルコによる福音書 10章44・45節

(校長)

音楽鑑賞会

今年度の音楽鑑賞会は、三上恵理子さん（ピアノ・卒業生）、宮田貴子さん（ホルン）、北垣内秀響さん（箏・卒業生）、北垣内秀萌さん（箏・卒業生）、上遠野衛さん（尺八）をお招きして6月6日（火）にゲーンズホールで行われました。ピアノの独奏で始まった鑑賞会は、ホルンの仕組みを知りピアノとのアンサンブルも味わいました。そして、なかなか聴くチャンスのない尺八の透明感のある音色と箏のハーモニーがホールに響き渡り、心を動かされました。また作品や作曲家、楽器のお話を交えて演奏して下さったおかげで、新しい発見をしながら聴くことができ、普段こんなにゆっくりと音楽に耳を傾ける機会が少ない中で、生徒の皆さんもとても良いひと時がもてたのではないのでしょうか。演奏をとおして芸術に向かう姿勢は、西洋の音楽も日本の音楽も大切にしていることは同じだということをおぼろげに教えられるような気がします。様々な作品や演奏者の皆さんの素敵なお人柄にも触れ、良い時を過ごせたことに心から感謝しています。ありがとうございました。演奏して下さった方々のご活躍をお祈りしています。

（音楽科）

平和を祈る週（6/12～6/17）

平和を祈る週特別礼拝講師として、フォトジャーナリストの安田菜津紀さんをお迎えしました。安田さんは、カンボジアを中心に、東南アジア、中東、アフリカ、東日本大震災以降は陸前高田市を中心に、被災地を記録し続けています。

安田さんの原点は、高1の担任の先生が紹介したNGO「国境なき子どもたち」の『友情レポーター』としてカンボジアを訪問したことでした。ボランティアとかに興味があったわけではなく、家族と暮らせなかつ

たり、路上で寝る子もいると聞いて、中学時代、家族を相次いで亡くし、「家族って何なのか」と悩んできた自分に通じるものを感じて応募。貧困のどん底にありながら家族を思いやる子どもたちの姿に衝撃を受けたそうです。

礼拝の中では、現地の写真を見せながら、カンボジア、シリア、陸前高田など、紛争や災害の中で生きる人々の痛みと、その中でなお輝く人間の尊厳と希望を伝えてくださいました。生徒たちは食い入るようにお話を聞き、高校礼拝後の講師を囲む会には、会場いっぱいに集まった生徒から途切れることなく質問が続きました。

週間中、中学では8・6平和記念式で広島女学院原爆慰霊碑に捧げる千羽鶴を作成、昼の集いは被爆アオギリに生きる勇気を与えられ、被爆アオギリ2世の植樹運動をされた故沼田鈴子さんをモデルにした映画『アオギリにたくして』を上映しました。

高校では昼の集いで、生徒によるミャンマー研修報告、韓国研修報告、NPT再検討会議準備委員会報告などが行われました。また東日本大震災広域避難者支援の募金活動に取り組みました。

（宗教教育委員会）



写真：平和を祈る週特別礼拝



2017年度 第1回SGH研究発表会

6月17日（土）に今年度第1回の研究発表会を実施しました。基調講演は、平和を祈る週・特別礼拝（中学）をもって代え、安田菜津紀さんのお話を聞きました。（お話の詳細は宗教教育委員会の記事参照）

午後のプログラムは、昨年度の取り組みに関する生徒発表で始まりました。内容は、「カンボジア研修」「ヒロシマアーカイブと日米高校生平和会議」「ハワイ研修」「CIF（Critical Issues Forum）」の4本で、「課題研究授業と国内外の研修の融合」をテーマに、教室の中での学びが研修等とどのように結びつき、学びがどのように変化したのかについて、約10分ずつプレゼンテーションをしました。

それぞれの発表のあとに安田菜津紀さんから講評を頂きましたが、各プレゼンテーションに対する素晴らしい感想とともに、「学びのなかでの心の動きを大切に」「思考を止めない」「忘却にどう向き合っていくか」など、核心を突くようなメッセージを頂きました。それぞれ数分の講評でしたが、安田さんご自身の世界観が凝縮されており、発表生徒だけでなく、オーディエンス全体が聞き入っていました。

発表のあと、パネルディスカッションの時間をもちました。ファシリテータは安田さんです。特に台本も打ち合わせもなく、安田さんの投げかける質問にパネリストである生徒（発表生徒）が率直に答える形式です。時間が限られていたため、安田さんからは「平和とはどのような状態をいっていると思うか」という質問に対し、生徒は「笑顔でいられること」「帰る場所があること」「明日が来るのだろうか」と心配をしなくてもすむこと」など、様々な意見が出ました。いずれも根源的な要素を含んでおり、日々多くのことを様々な角度から考えている高校生の姿を垣間見たように思います。

この生徒発表およびパネルディスカッションには、生徒、保護者は自由参加としましたが、合計で200名以上が参加したことは望外の喜びでした。

パネルの後は、情報交換会として、外部参加者に対し、本校のSGH事業の取り組みについての発表および意見交換会を行ないました。小さな会ではありましたが、多くの意見が飛び交う活発な会となりました。

（G E C）

教育実習について

6月1日（木）から3週間（または2週間）、卒業生11名が本校で教育実習を行いました。出身校ということに加えて、生徒と年齢が近いこともあってかすぐに打ち解け、授業やHRに参加していました。先輩という立場ではなく教師として生徒に接すること、教えることの難しさやその準備の大変さに気付くことができました。彼女たちの今後の活躍を期待します。

（教育実習係）

地区会役員会

6月22日（木）13時30分から中学チャペルで地区会役員会を行いました。今年度の地区会活動の報告や計画をお聞きし、学校側からは地区会運営の手引きをお配りし、学校施設の使用の説明などを行いました。また、PTAバザー担当副会長より、バザーに出す食品や物品の依頼と説明をしていただきました。今年も車で搬入をしていただきますが、その折の注意もありました。様々な活動をお願いいたしますが、どうぞよろしくお願いいたします。また、PTA皆様の地区会への参加もどうぞよろしくお願いいたします。地区会を主催される方々は、楽しい催しなどを計画されています。学年を越えた色々な情報を得られる貴重な時であると思いますし、広い範囲から通学されておしま

すので、その情報網は防犯などにも役に立つものです。ある地区では、高3の保護者からJR内でのマナーなど、女学院生として大切にしてほしいことを伝えていただいたという報告がありました。感謝です。PTAの皆様様の温かいご支援にこころより感謝申し上げます。

(高校教頭)

中2・3父親母親教室

6月24日(土)午前中、ゲンスホールにて今年度の中2・中3の父親母親教室が開かれました。ここ数年、中2・中3ではツイッターなどのソーシャルネットワークサービス(SNS)の仕組みやそこから起こるトラブル、スマホ世代と親世代の感覚の違いや家庭でのルール作りなどについて、株式会社アディッシュのスクールガーディアン事業部の方に来ていただき講演を行っています。技術やサービスの発達は日進月歩ですので、毎回新しい情報が得られ、有意義な時間となっています。今回、65名の保護者の参加があり、盛りだくさんの内容でした。終わった後も非常に重要な知識を得られた、との声が聞かれました。

保護者の皆様にもいろいろ知っていただいて、お嬢様とSNSに関する話題を作りながら、成長段階に見合った現実的なルールを考えていかれることをおすすめします。情報社会のなかでメディアでもさまざまな問題が取り上げられる今日、ネット社会のさまざまなリスクと情報モラルは大人が教えていかなければならないことだと考えます。一方で、トラブルのもととなる「人との関係の作り方」は「仲間はずれをしない」「陰口を言わない」など基本的には昔と変わっておりませんのでご家庭でもしっかり教えていただければと思います。なお今学期は生徒向けにはSNSの講演が組まれておりません。7月20日(木)の7時間目に中学生を

対象に通学カバンの工夫と女学院の制服についての講演が予定されています。

(生徒支援部)

心の健康(3)

前回に引き続いてストレス解消のヒントを頭文字順にお知らせします。今回はTです。

T-tree 自然にふれよう

Tree 木 で代表される山、また川・海など自然にふれて心がやすらぎ、ストレスが消えていくことを体験した人は多いと思います。

最近、機器に囲まれての生活で、いろいろなことが便利になったこともあり、私たちは人間のもつ動物性について忘れがちです。

動物性というのは、食べたり、体を使って動いたり、睡眠をとったり、草花や山や海などの自然に親しんだりすることです。人間も植物も大地に生かされています。それで大地の営みである自然にふれると人間の原点に帰り、人間らしさを取り戻し、心身共にリラックスするのでしょうか。夏は親子で自然にふれて、健康な生活を守りましょう。

(カウンセラー)



生徒の活躍

《中学》

◇中学新体操部

* 広島市中学校新体操選手権大会

団体: Aチーム 優勝

⇒ 広島県選手権大会へ出場

Bチーム 2位

◇中学放送部

*第37回広島県中学校放送コンテスト
(NHK杯県予選)

団体：総合 3位

個人：アナウンス部門

H・M(3-5) 6位

朗読部門

T・M(3-1) 6位

団体：テレビ番組制作部門 3位

◇高校水泳部

*広島県高校総合体育大会(競泳)

個人：T・M(2-D)

200m個人メドレー 4位

400m個人メドレー 2位

*広島地区選手権水泳競技大会

個人：T・M(2-D)

200m個人メドレー 1位

400m個人メドレー 1位

◇個人の活躍

*広島市中学校水泳競技選手権大会

個人：G・R(3-4)

100m自由形 3位

200m自由形 6位

K・Y(2-2)

200mバタフライ 1位

400m自由形 3位

⇒両名とも県選手権への出場権獲得

教職員の動向

6月1日付で職員の間動がありました。

《事務室》

異動 森脇 正樹 在職 7年2ヶ月
(法人事務局総務課へ)

新任 下高呂 千春
(大学事務局庶務課より異動)

《高校》

◇高校新体操部

*第70回広島県高等学校総合体育大会
新体操競技の部

団体：Aチーム 2位

Bチーム 3位

Cチーム 5位

個人：一部総合

O・S(3-E) 5位

K・C(3-E) 6位

F・E(3-C) 7位

I・S(3-B) 8位

二部種目別フープ

I・H(3-C) 3位

*第58回中国高等学校新体操選手権大会出場

団体：Aチーム

個人：O・S(3-E)

K・C(3-E)

今月の聖句

「この自由を得させるために、キリストはわたしたちを自由の身にしてくださったのです。」
(ガラテヤの信徒への手紙5章1節前半)

1970年に女学院高校を卒業された三宅展子牧師(ハワイ在住)が、6月12日の高校ホール礼拝でメッセージをくださいました。三宅先生はおっしゃいました。「自由の身にしてくださった」は過去形、すなわち私たちはすでに自由なのだ。自分に与えられている自由を信じて水槽を飛び出し、大海へ泳ぎ出しましょう。

(聖書科Y. I)

7月行事予定表

1	土	中1父親母親教室 保護者対象講演会
2	日	
3	月	— 期末テスト(高1) 1限8:55～
4	火	(中3,高2・3) 1限8:55～
5	水	(全学年) 1限8:55～ 15分休憩
6	木	1限8:55～ 15分休憩
7	金	1限8:55～ 15分休憩
8	土	高1・2進研模試 高3進研記述模試
9	日	
10	月	自宅学習日
11	火	— テスト返却 30分授業 1限8:55～
12	水	30分授業 1限8:55～
13	木	40分授業 1限8:55～
14	金	月曜授業 1限8:55～ 期末テスト素点確認
15	土	4限大掃除
16	日	
17	月	梅の日 おさんぽ女学院
18	火	振替休日(7/17(月))
19	水	1限8:55～
20	木	火曜授業 1限8:55～ 7限中学講演会
21	金	⊕ 7限 終業礼拝 8限 LHR ⊖ 7限 LHR 8限 終業礼拝
22	土	高3補習
23	日	
24	月	— 中2 チャレンジキャンプ 勉強合宿,English Adventure
25	火	
26	水	夏期海外生活体験学習
27	木	
28	金	
29	土	
30	日	
31	月	

